

学科問題

問1 感染に関する次の文章について、正しいものには○、間違っているものには×で答えなさい。

1. 院内で感染することを市井感染という。
2. バンコマイシン耐性腸球菌は塩酸バンコマイシンに耐性を持つ平素無害菌の一つである。
3. 「スタンダード・プリコーション」は、感染症の有無にかかわらず、すべての患者に適用される。
4. もともと毒性の強い細菌によって引き起こされる感染を日和見感染という。
5. 手袋の使用は血液や体液による感染を防ぐために有効な予防策となる。

問2 次の被保険者、被扶養者に該当する一部負担金の割合を語群から選び、記号で答えなさい。
(重複使用可)

1. 3歳の被扶養者
2. 18歳で船員保険(職務外の下船2ヶ月)の被保険者
3. 84歳で所得額120万円の被保険者
4. 37歳で国家公務員の被保険者
5. 6歳で小学校就学前の被扶養者

(語群)

- A. 10割 B. 9割 C. 8割 D. 7割 E. 5割 F. 3割 G. 2割
H. 1割 I. 0割

問3 電子カルテシステムに関する以下の各文について、正しい文章の組み合わせを選び、記号で答えなさい。

1. 「診療録等の電子媒体による保存について」では真正性・見読性・保存性の確保を条件に電子媒体による保存が認められるようになった。
2. 医療情報の漏洩が生じた場合、医療機関の管理者にはその事態発生を公表する責任は生じるが、原因と対処方法を必ずしも説明する責任はない。
3. 真正性の確保においてオンライン外部保存を行う場合、委託元と委託先相互の認証機能が必要である。
4. 電子媒体による保存が認められる文書において、スキャナによる電子化された文書の運用は認められていない。
5. テンプレート入力は入力のしやすさだけでなく、診察内容の記載漏れの防止にも役立っている。

- A 1. 2. 3 B 1. 4. 5 C 2. 4. 5 D 1. 3. 4 E 1. 3. 5

問4 下記の内容に関する法規の組み合わせの正しいものを全て選び、番号で答えなさい。

1. 予防給付……………介護保険法
2. 特定機能病院の該当要件……………医療法
3. 母子健康手帳の交付……………母体保護法
4. インフルエンザ患者の届出……………感染症法
5. 麻薬施用者の免許……………覚せい剤取締法

問5 日本の医療に関する以下の各文について、正しいものには○、間違っているものには×で答えなさい。

1. 少子高齢化や慢性期疾病中心から急性期疾病中心の変化等を背景に医療費は年々増加している。
2. 小児科は一般的に医療訴訟のリスクが高い診療科である。
3. わが国の人口千人あたりの急性期病床数は、OECD加盟国の中では少ないほうである。
4. 救急患者のいわゆる「たらいまわし」は、病院の受け入れ態勢が不十分なことが原因の一つである。
5. 厚生労働省は「安心と希望の医療確保ビジョン」にて、全国の医学部定員を増やすことを発表した。

問6 医療の安全管理に関する以下の各文について、それぞれ()内から正しい語句を選択し、記号で答えなさい。

1. 医療安全推進週間は毎年(A. 3月 B. 11月)に設けられている。
2. 医療安全支援センターは(A. 院内感染対策の体制確保 B. 患者の苦情・相談窓口)等を主業務としている。
3. 医療事故防止のためには、システムやルール作りの他、(A. 感染対策管理者 B. 医療安全推進者)がその必要性や重要性を認識し意識の向上を計るなどして医療安全の文化を作ることが大切である。
4. 医療法施行規則では(A. 全ての病院・有床診療所 B. 特定機能病院)で医療安全管理部門の設置が義務付けられた。
5. すべての医療機関は(A. 医療の安全管理についての規程 B. 患者相談窓口)を備えなければならない。

過敏症 有・無

診療録

公費負担者番号	1	2	1	4	1	0	7	3	保険者番号								
公費負担医療の受給者番号	9	8	7	6	5	4	3		被保険者証 記号・番号								
受診者	氏名	うちだ やまと 内田 大和							有効期限	令和 年 月 日							
	生年月日	大・昭・平・令 34年1月28日				男・女			被保険者氏名								
	住所	〒240-0001 神奈川県横浜市保土ヶ谷区川辺町2-99 電話045-334-0000							資格取得	昭・平・令 年 月 日							
	職業	無職	被保険者の続柄	本人				所在地									
傷病名									職務	開始	終了	転帰					
慢性肝炎（主）									上・外	平成29年10月8日	年 月 日	治ゆ・死亡・中止					
肝細胞癌の疑い									上・外	令和2年5月22日	年 月 日	治ゆ・死亡・中止					
既往症・原因・主要症状・経過等									上・外	年 月 日	年 月 日	治ゆ・死亡・中止					
平成29年10月より慢性肝炎で通院の患者 週1回強カネオミノファーゲンシーの静注実施 令和2年5月8日 5月15日 B.D. 130/69 WT 78.5kg 本日、定期検査実施 血液検査結果 → 高値 次回精密検査予定 体重は前月に比べて4kg増加、食事過多 食事、運動等について指導 医療要否意見書交付 (令和2年6月以降、6ヶ月間の入院外医療を必要とする)									処方・手術・処置等 5月8日 1) 静脈注射 ・強カネオミノファーゲンシー静注 20mL 2A 5月15日 1) 検査 ・尿一般 ・末梢血液一般、ALP、LAP、AST、ALT、γ-GT ・超音波検査（腹部） 2) レントゲン検査 ・胸部X-P（デジタル撮影） 電子画像管理 3) 静脈注射 ・強カネオミノファーゲンシー静注 20mL 2A 4) 院外処方 ウルソ錠 100mg 6T グリチロン配合錠 6T 分3 毎食後 28日分								
傷病名			労務不能に関する意見 意見書に記入した労務不能期間				意見書交付		入院期間								
			自 月 日 日間		年 月 日		自 月 日 日間		自 月 日 日間								
			自 月 日 日間		年 月 日		自 月 日 日間		自 月 日 日間								
業務災害又は通勤災害の疑いがある場合は、その旨																	
備考	公費負担者番号																
	公費負担医療の受給者番号																

※保険証 年月日迄

過敏症 有・無

診療録

公費負担者番号									保険者番号								
公費負担医療の受給者番号									被保険者証 記号・番号								
受診者	氏名	たしる りょう 田代 亮							有効期限	令和 年 月 日							
	生年月日	大・昭・平・令 5年12月13日				男・女			被保険者氏名	労災							
	住所	〒300-1222 茨城県牛久市南5-4-2 電話029-878-0000							資格取得								
	職業	会社員	被保険者の続柄	本人				所在地									
傷病名									職務	開始	終了	転帰					
右腓骨骨折（主）									上・外	令和2年6月3日	年 月 日	治ゆ・死亡・中止					
右前腕擦過傷									上・外	令和2年6月3日	令和2年6月17日	(治ゆ)・死亡・中止					
胸部打撲									上・外	令和2年6月3日	令和2年6月17日	(治ゆ)・死亡・中止					
既往症・原因・主要症状・経過等									処方・手術・処置等								
令和2年6月3日 20:30（救急外来） 宅配便の配達中、配達先のマンションで荷物を抱えて階段を急ぎ下りていたところ、足元が暗く階段を踏み外し転倒、そのまま階下まで転落 右下腿、右前腕、胸部を強打 携帯電話で同僚に緊急の事態を連絡し、同僚とともに救急来院 KT36.8℃ BP129/65 P117 右下腿 腫脹（+）、痛み（+）、しびれ（+） 右前腕、胸部 腫脹（+）、痛み（+） 既往歴、手術歴等なし レントゲンの結果 右腓骨骨折 → 骨折を認める 右前腕、胸部 → 骨折の所見なし 自宅にて月末まで安静加療を指示									6月3日 ・レントゲン撮影（緊急） 右下腿デジタル撮影 右前腕デジタル撮影 胸部デジタル撮影（それぞれ電子画像管理） ・処置、手術 右下腿 骨折非観血的整復術 右大腿～足部 ギプスシーネ固定 右前腕 創傷処置 アクロマイシン軟膏 2g 胸部 湿布処置 ハーネシップ 30g ・院内処方 ロキソニン錠 3T 1日分								
傷病名			労務不能に関する意見 意見書に記入した労務不能期間				意見書交付		入院期間								
			自 月 日 日間		年 月 日		自 月 日 日間		自 月 日 日間								
			自 月 日 日間		年 月 日		自 月 日 日間		自 月 日 日間								
業務災害又は通勤災害の疑いがある場合は、その旨																	
備考	公費負担者番号																
	公費負担医療の受給者番号																

※保険証 年月日迄